



かわにし

精華町立川西小学校

検索

めざす児童像

よく学び 心豊かで 元気な子
精華町立川西小学校 学校だより
令和7年1月8日 1月号

大きな夢を持って！

校長 竹花 真治



1月8日。校門での子ども達の元気な挨拶の声が、令和7年のスタートを活気づけてくれました。

3学期は、1年間を締めくくる大切な学期です。4月からの進級・進学に向けて、今すべき具体的な目標を持つとともに、新しい年を迎えた今こそ、将来への希望や夢をもってほしいと願っています。

「夢を追っかけてきました。夢にはきりが無い」

20年以上も前になりますが、平成14年にノーベル物理学賞を受賞した小柴昌俊さんの言葉が、今も印象に残っています。私は、人間の未来は夢がつくると言うことがあります。もちろん、ただ夢見ているだけでは未来はつくれません、夢をもたなければ何も実現はしません。大切なことは、夢を実現するためには、どうすればよいか考える力を養うことだと思います。夢は目標・大志を意識させ、日々の生活を変化させます。

 **「冬来たりなば春遠からじ」**という言葉があります。この言葉は、私たちが生きていく人生には、苦難の冬の時期もあるが、努力によって乗り越えれば、やがて楽しい春がやって来るといふ意味の言葉であると受けとめることができます。

夢を実現する道のりは厳しいかもしれませんが、楽しくやりがいのあることも多いはずです。かけがえない人生の出発点は、夢をもつことだと思います。「〇〇になれたらな～」など、子どもが夢をもち、大切に温め、秘めている大きな可能性を伸ばしてほしい…、と思っています。

本日、3学期の始業式で、**「1年の計は、元旦にあり。1月1日の朝に、今年の目標をしっかりと持ったように、今日、学校でもしっかりと3学期の目標を持ちましょう！」**と、子どもたちに話しました。子ども達一人一人が、**大きな夢・目標を持ち**、この1年も、きつとがんばってくれることでしょう。

「夢を描く」ということは、子どもにだけ許された特権ではありません。私達教職員も常に夢（目標）を持ち、子どもと共に伸びていきたいと考えます。本年も、保護者・地域の皆様と連携・協力し、川西小の子ども達を伸ばしていくことが、教職員全員の共通目標です！

本年も子ども達の成長のため、ご協力どうぞよろしくお願い申し上げます。



応援の力！適切な「言葉！」

保護者・地域の皆様は、年末年始、どのように過ごされたことでしょうか？ 私は、スポーツが好きなので、年末年始は、サッカー、ラグビー、駅伝等のテレビ観戦が、毎年の定番です。駅伝を見ていると、感化されて、直後にジョギングがしたくなります。（今年も走りました）

今年もお正月、箱根駅伝が行われました。沿道、中継所付近やゴール前には鈴なりの観衆がTVに映し出されていました。選手への惜しめない声援は、どの場面でも映っていました。走後の選手へのインタビューで**「沿道からの応援が力になりました。」**と、多くの選手が声にしていました。

その沿道からの応援とは別に、私が注目しているのは給水場面です。箱根駅伝は一つの区間が約20kmもあり、走路途中「給水」場所が設けられています。その地点に来ると、各校の駅伝に出られなかった部員や大学関係者が、選手に水を渡しなが、必ず何か声を発しています。その瞬間、選手の顔が一瞬ほころび、飲み物以外の何かのエネルギーをもらって、走っていきます。そのエネルギーになるものは、給水時、たった50mの並走が許される給水員の**応援・激励の「言葉」**にあると思います。

どんな「言葉」が発せられたのか…。水の受け渡しをする中での数秒に何が言えるのか…。その時の選手の顔つきから察するに、その選手、そのチームにとって**「適切な言葉」**が発せられたに違いありません。



自分が「応援されている」と感じた時、人は持っている力以上の「不思議な力」を発揮することが多々あります。

私も、出場したマラソンの大会で沿道の方に「そのオレンジのTシャツ、がんばれ！」と、（いつもオレンジ色を着ています）声をかけられると、疲れているはずなのに、少しスピードが上がったり、気持ちが楽になったりすることがよくあります。一瞬回復する気力・体力を、いつも不思議に思っています。

子ども達も、持久走の練習時、「がんばれ～」など、声がかかると元気に走りだす場面、多く見かけたものです。

誰もが何も言われなくても「頑張り続ける」ことができればいいのですが、なかなかそうはいかないものです。でも、**周りからの「応援や言葉」によって、がんばれたり、復活できたりするものです。**



本年度、「言葉」について、学校便り等に、時折記載させていただいていますが、私たち教職員・保護者の方々の共通目標である、**『子どもを伸ばす』**ためには、子ども達に、何かを伝えていかなければなりません。その伝える手段として、**子ども達にかけ「言葉」は本当に大切です。**

新たな学年に向けて、子ども達を、もう一回り成長させていきたいと思います。そのためにも、子どもの目標や、学校・学年で行われていることをつかんでいただき、「●●がんばって！」などと、**その時にあった適切な「言葉」**がけを、今後もお願ひいたします。学校・家庭・地域が連携を取りながら、子ども達を、いつも応援して、伸ばしていきましょう！